

令和6年度第1回 高津区地域包括支援センター運営協議会摘録

1 日 時 令和6年10月9日（水） 午後1時00分から午後2時00分まで

2 場 所 高津区役所 特別会議室

3 出席者

（1）委 員

木下委員、小宮委員、亀井委員、八木委員、瀬戸口委員、島崎委員

（6名出席）

（2）事務局

地域みまもり支援センター所長

地域みまもり支援センター副所長

地域支援課 2名

地域ケア推進課 2名

高齢・障害課 4名

（3）地域包括支援センター：1名（リ・ケア向ヶ丘地域包括支援センター）

4 欠席者

小山委員、片瀬委員

5 議 題

（1） 川崎市高齢者施策の現況について

（2） 地域包括支援センターの現況について

（3） 令和5年度高津区内地域包括支援センターの業務実績・事業評価について

（4） 高津区内地域包括支援センターの取組状況について

ア 高津区課題整理シートについて

イ 地域の取組状況について（リ・ケア向ヶ丘包括支援センター）

（5） その他

6 審議経過

開 会

（1） 開会あいさつ（地域みまもり支援センター所長）

（2） 地域包括支援センター運営協議会に関する条例・規則について

「資料1」「資料2」を確認しながら、会議の開催根拠や協議事項等について説明。

（3） 委嘱状伝達

（4） 運営協議会委員の出席確認及び紹介

（5） 事務局紹介

（6） 地域包括支援センター職員の紹介

リ・ケア向ヶ丘地域包括支援センター 堀内センター長の紹介。

（7） 会議の公開について

「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例第3条」に基づき公開。

会議録は要約方式で作成する。会議録の確認は後日議事録を送付し、各委員により行う。

傍聴者 0名。

- (8) 会長及び副会長の選出
木下会長、小宮副会長

(1) 川崎市高齢者施策状況について

事務局：(議題(1)について「資料3」により説明)

- (1) 川崎市の高齢者人口
- (2) 要介護等認定者数
- (3) 施設整備の状況
- (4) 介護保険サービス指定事業所の状況
- (5) 独自施策の状況

(2) 地域包括支援センターの現況について

事務局：(議題(2)について「資料4」により説明)

- (1) 地域包括支援センターの設置状況
- (2) 設置主体
- (3) 職員の充足状況について
- (4) 令和5年度業務実績
- (5) 令和5年介護予防ケアマネジメント請求実績
- (6) 令和6年度地域包括支援センター運営協議会

木下会長：ただ今の件について、御意見・御質問等ありますでしょうか。

委員：特になし

木下会長：資料3の高津区の人口比率について今現在、全高齢者に対する割合が19.67%とある。

10年後に10ポイント上がるとのことだが、10年後に向けて職員の人員や施設数を増やす、1つの施設あたりの規模を拡大する等、何かしらの対応を今から検討が必要と思われる。10年後の直前になってから身動きがとれなくなる可能性もあるため、今から行政側で考えて動いていく必要があるのではないか。そのことについて何か行政側で動いていることはあるか。

牛若係長：介護予防として比較的支援が軽い要支援1・2の方に対して要介護にならないような1歩手前で食い止めるようなアプローチを施策として展開している。施設を増やすなどハード面だけでは限りがあるため、施策のソフト面とハード面と両輪で高齢化社会に向けて対応している状況です。

木下委員：区だけでは動けないことだと思われる。市全体で協力をして対応をお願いしたい。

(3) 令和5年度高津区内地域包括支援センターの業務実績・事業評価について

事務局：(議題(3)について「資料5」・「資料6」により説明)

木下会長：ただ今の件について、ご意見・御質問等ありますでしょうか。

委員：特になし

(4) 高津区内地域包括支援センターの取り組み状況について

事務局：(議題(4)について「資料7」・「資料8」により説明)

木下会長：ただ今の件について、ご意見・御質問等ありますでしょうか。

委員：特になし

木下会長：次にリ・ケア向ヶ丘地域包括支援センターより個別の取り組みについて紹介いただきます。

堀内センター長：「みんなのほうかつ」を見ていただきたい。リ・ケア向ヶ丘では機関紙を年に4回ほど発行している。地域の町内会の掲示板に貼ってもらったり、公園体操等地域包括の名前を知ってもらったりと相談ができる場所だと知ってもらう資料として活用している。リ・ケア向ヶ丘内のいこいサロン「だんらん」では地域包括の隣にある地域個別スペースで月に1回サロンを行っている。地域の方が工作を行ったり、歌を歌ったり、お菓子作りといった活動を続けており、介護保険の制度ではなく包括で独自に行っており、高齢の方、近所の皆さんが参加できるようになっている。次に体操教室について、昨年度までは上作延地域のみで行っていたが、今年から上作延と梶ヶ谷で実施。各月で地域のグループホームを借り開いており、体操教室の講師としてデイサービスの職員や福祉用具の業者で体操を教えられる方、また、訪問マッサージで体操を教えている方々をお願いをして無料で行っている。毎回違う先生が講師をしてくれているということで好評。栄養講座は昨年からはまり、リ・ケア向ヶ丘の栄養管理の先生が調理実習を行い皆さんに参加してもらっている。次に「じゃんトレ」は麻雀の途中でストレッチと体操を取り入れながら行っている。男性の方の参加が少なく麻雀なら参加してくれるのではと今年から開始。しかし、女性の参加者が多く、これから少しずつ増えていけばよいなと考えている。この様な活動をしている中で包括という名前を知ってもらい、事業者と関わりながら地域活動が広がればと考えている。以上です。

木下会長：ただ今の件について、ご意見・御質問等ありますでしょうか。

委員長：特になし

(5) その他

上野係長：地域ケア推進課から：

- ・配布資料「地区カルテ」（4冊配布）について、川崎市内に44地域が設定され、高津区内は4つのエリアに分かれている。人口、高齢化率や生活習慣にかかわることまで地区別にまとめられており、ホームページにも掲載されている。参考に見ていただきたい。

高柳係長：地域支援係から：

- ・配布資料「高津区全域地図」（高津公園体操）について、42ヶ所の場所で公園体操を行っている。誰でも参加可能。
- ・配布資料「高津区の地域（認知症）カフェ」の資料について、こちらも参考に見ていただきたい。

牛若係長：第2回の運営協議会は12月頃に日程調整し、令和7年2月の開催を考えている。

委員長：（全員出席問題なし）

鈴木副所長：配布資料「認知症サポーター養成講座」について、区役所で行うため参加していただきたい。

牛若係長：配布資料「高津区在宅療養推進協議会 市民シンポジウム」について説明。

木下会長：それでは、次回もよろしくお願いいたします。他に委員の皆様からご発言ございませんか。

委員長：特になし

閉会

閉会あいさつ（地域みまもり支援センター副所長）

宮川課長：それでは、これを持ちまして令和6年度第1回地域包括支援センター運営協議会を閉会します。